



堤防は、何をするためにあるの

川岸や海岸にそって築いた土手

あなたは、川で遊んだことがありますか。川に遊びにいくと、どこまでも続いている土手がありますね。土手は、土やコンクリートで造ってあります。

この土手は、川の水が一定の流路を流れるようにし、洪水が田や畑、住宅地などへははんらんするのを防ぐために、川の流路にそって、両岸に設けられているものです。つまり、流水を一定の流路内において流れるようにし、その区域外には、はんらんさせない目的のために造られたものです。

川を守るために、いろいろな河川工作物がありますが、堤防は、その中でも、最も重要なものです。

堤防には、本堤、副堤、霞堤、輪中堤、しめ切り堤などがあります。

海岸にある堤防は、海岸堤防

堤防は、川にだけあるのではなく、海岸にもあります。高潮、津波、波ろうなどにより、海水が陸地にしん入するのを防ぐために、造られているのを海岸堤防といいます。防潮堤も海岸堤防の一つです。（監修・保岡 孝之）

堤防の種類

